

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000057"/>	整理番号 <input type="text" value="11647"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="蛍光DNAプローブに応用可能な新規蛍光性核酸"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="DNAチップ、遺伝子診断薬"/>		
目 的	<input type="text" value="蛍光DNAプローブに応用可能な新規蛍光性デアザプリンヌクレオシド誘導体の開発を目的とした。"/> <input type="text" value="具体的には周辺(溶媒)の極性環境の違いにより蛍光発光波長が大きく変化する(色の変化が見られる)蛍光ヌクレオシドの開発を目指した。このような蛍光ヌクレオシドはDNAチップのキャプチャープローブや遺伝子診断薬として広く応用できると考えられる。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本発明の蛍光ヌクレオシドは、周囲の極性環境の違いにより、蛍光発光波長の変化が見られることから、対面塩基の種類を蛍光発光色で識別する新しいコンセプトに基づく遺伝子検出用のプローブとして応用可能である。"/> <input type="text" value="DNA中の識別したい塩基の対面に本発明の蛍光ヌクレオシドを導入したプローブDNAを作製し、対面塩基とのマッチ-ミスマッチの違いによる周辺極性環境の変化を利用することで、塩基の種類を色の違いで識別できる今までにないプローブになると考えられる(発光強度ではなく色の違いで判別するので検査用キットとしても一般の人にも利用しやすい)。更にDNAチップや、その技術をさらに応用したDNAインクの検出キット等にも応用可能である。また、遺伝子検出だけでなく、周囲の極性の程度を色で示すことが可能であるため、タンパク質や細胞内の局所的な極性環境の調査用のプローブにも応用できると考えている。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp